

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	英会話		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	ILC講師	実務経験と その関連資格	英語教授に関する資格を保持し、基礎英語や医療英語の教授に関わる。			
《授業科目における学習内容》						
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 出席:20% 3. 授業態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press						
《授業外における学習方法》						
授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。 オンラインでの学習(リスニング、文法など)が可能です。						
《履修に当たっての留意点》						
受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	初対面の相手に対し、適切な挨拶ができるようになる。	Speak Now	中学・高校までの英語の復習をしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	イントロダクション、プレテスト、 初対面の挨拶～お別れまでの会話			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分のこと、相手のことを英語で述べられるようになる。	Speak Now	教科書 L.2&3 を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	L.2&3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答え			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	興味のあること・ないことについて述べられるようになる。	Speak Now	教科書 L.5&6 を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	L.5&6 好き・嫌い等の好みについての会話			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分の意思を相手に伝えられるようになる。	Speak Now	教科書L.8を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	L.8 意見を尋ねる、意見を述べる。お誘いを受けた際の返答の仕方を学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	周りの人間、自分の性格を伝えられるようになる。	Speak Now	教科書L.9&10を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	L.9&10 家族や性格についての会話			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ファッションについて話し、相手のファッションについて褒めることができるようになる。	Speak Now	教科書L.11&12を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.11&12 人を褒める&褒められた際の会話表現を学ぶ。(衣服など) 着ているものに関して述べる。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な表現を用いて、時間について説明できるようになる。	Speak Now	教科書L.7,13,14を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.7,13&14 時間についての表現方法を学ぶ。日々の習慣について話す&質問する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	道案内ができるようになる。	Speak Now	教科書L.19&20を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.19&20 道案内をする、場所を尋ねる。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	買い物時の受け答えができるようになる。価格交渉ができるようになる。	Speak Now	教科書L.21&23を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.21&23 数やお金の数え方、価格や頻度についての質問や受け答えを学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	レストランで料理を注文できるようになる。	Speak Now	教科書L.28を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.28 料理の味や材料について&レストランでのオーダー方法を学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	旅行などの経験について話すことができるようになる。	Speak Now	教科書L.29&30を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.29&30 過去の出来事について話す&質問する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	リアクションを取りながら会話できるようになる。	Speak Now	教科書L.31を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答方法を学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	旅行の予定や将来のことについて述べられるようになる。	Speak Now	教科書L.32を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	L.32 週末や未来の予定について話す。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	学期末試験の復習が自宅でもできるようになる。	Speak Now	教科書(学んだ範囲)の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	学期末・総復習を行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	本講義内容を理解し、自分の伝えたいことを自分の言葉で表現することができるようになる。	Speak Now	これまでに学んだ教科書、配布プリントをよく読み、理解する。
		各コマにおける授業予定	学期末の総合演習を実施する。		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	情報科学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 木曜2限	教室名	大阪ハイテクPCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
この授業では、効果的なプレゼンテーション技法を習得するために、その作成方法を中心に発表の方法までの一連の作業を学習する。さらに実際の卒業研究発表抄録を例とし、卒業研究に直接応用できるように内容を構成している。						
《成績評価の方法と基準》						
出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
イーラーニングテキスト 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
《授業外における学習方法》						
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	何を伝えるかを簡潔に示したスライドの作成の設計ができる	プレゼン基礎1		イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	アウトライン作成			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	レイアウト、配色等、デザインに考慮した図解を作成できる	プレゼン基礎2		イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	図解の活用			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	表の活用・図表の効果的な表現をすることができる	プレゼン基礎3		イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	表・図表の活用			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像とグラフの効果的な活用ができる	プレゼン基礎4		イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	画像とグラフの活用			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果的なアニメーション効果の設定について理解し活用できる	プレゼン基礎5		イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	特殊効果			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果的なスライド作成の手法を理解しスライドを作成できる	プレゼン基礎6	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	抄録作成		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションを実施し評価することができる(1)	プレゼン基礎7	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	抄録発表/評価		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	COUNTIF関数やピボットテーブルを使用したアンケート集計ができる	プレゼン応用A	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	アンケート分析、データ集計		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	効果的なグラフの作成方法を理解し、活用できる	プレゼン応用B	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	グラフの活用		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を数値化できる(平均、分散、標準偏差)	初級データサイエンス(統計編)1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる1(基本統計量を求める、ヒストグラムの作成)	初級データサイエンス(統計編)2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表(ヒストグラム)の作成/標準偏差のグラフ図示		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる2(散布図、相関係数を求める)	初級データサイエンス(統計編)3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	散布図を作成し、相関関係の有無を視覚的に表す/相関係数の算出		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計的検定を実施できる1	初級データサイエンス(統計編)4	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	母集団・標本・抽出について/統計的検定の手法について/t検定(一対の標本の平均値の差の検定)/F検定(分散の検定)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計的検定を実施できる2	初級データサイエンス(統計編)5	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	t検定の種類、使い分けについて/t検定(独立2標本の母分散が等しい平均値の差の検定)/t検定(独立2標本の母分散が等しくない平均値の差の検定)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	初級データサイエンス(統計編)で習ったことを実践できる	初級データサイエンス(統計編)まとめ	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	初級データサイエンス(統計編)復習問題の実施		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	福祉英語		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 月曜1限	教室名	1204教室
担 当 教 員	小松 真奈美	実務経験と その関連資格	大阪市立大学医学部付属病院にて看護師、りんくう総合医療センターにて医療通訳			
《授業科目における学習内容》						
1 福祉分野で使われている基礎的な用語を英語で理解し言えるようにする。 2 日本の福祉施設、簡単な制度について英語で表現できる。 3 医療福祉現場で使われている簡単な英語を聞き取れるようにする。 4 福祉英語検定3 4級に合格する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験、授業態度(出席率、ペアワークの参加度、発表)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
福祉英語 (国際教育社)						
《授業外における学習方法》						
英語が苦手な学生は、単語などを調べるなど予習をしておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中の居眠り、私語、スマホの使用(単語を調べる時間以外)は禁止。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	英語で簡単な挨拶、自己紹介、他己紹介が出来るようになる。	配布プリント		テキストでLesson1を予 習
		各コマに おける 授業予定	自己紹介、他己紹介			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	利用者との面会、自己紹介、施設の案内、体の各部の名称 (上半身)が英語で言えるようになる。	教科書・プリント		単語テスト①
		各コマに おける 授業予定	Lesson 1 利用者との面会1			
第3回	講義 実習形式	授業を 通じての 到達目標	部屋の案内、体の各部の名称(上半身)が英語で言えるように なる。	教科書・プリント		単語テスト②
		各コマに おける 授業予定	Lesson 2 利用者との面会2			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	食事時間、好き嫌いの有無、症状の表現が英語で言えるように なる。	教科書・プリント		単語テスト③
		各コマに おける 授業予定	Lesson 3 食事時間の説明と好き嫌いの聞き方			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	食事の介助の表現が英語で言えるようになる。	教科書・プリント		単語テスト④
		各コマに おける 授業予定	Lesson 4 食事介助			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外国人保護者とのコミュニケーションが出来るようになる。	教科書・プリント	単語テスト⑤
		各コマにおける授業予定	Lesson 5 保育施設にて		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	体温と脈拍の測定、薬剤種類が英語で言えるようになる。	教科書・プリント	単語テスト⑥
		各コマにおける授業予定	Lesson 6 日課1 体温、脈拍測定		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	血圧測定時、医療器具の名称が英語で説明できるようになる。	教科書・プリント	単語テスト⑦
		各コマにおける授業予定	Lesson 7 日課2 血圧測定		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	右半身が麻痺の患者さんに自力で起き上がれるように介助する時の表現、歩行器具が英語で言えるようになる。	教科書・プリント	単語テスト⑧
		各コマにおける授業予定	Lesson 8 自力で起き上がる手順の説明		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	左半身が麻痺の患者さんに移乗の動作を説明する、車いす部位の名称が英語で言えるようになる。	教科書・プリント	単語テスト⑨
		各コマにおける授業予定	Lesson 9 ベッドから車椅子への移動		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	洗髪時の表現、病気、障害の名称が英語で言えるようになる。	教科書・プリント	単語テスト⑩
		各コマにおける授業予定	Lesson 10 利用者からの要求に応える		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	足浴とマッサージの表現、介護器具が英語で言えるようになる。	教科書・プリント	単語テスト⑪
		各コマにおける授業予定	Lesson 11 足浴とマッサージ		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ミーティングでの英語表現、臓器の名称が英語で言えるようになる。	教科書・プリント	単語テスト⑫
		各コマにおける授業予定	Lesson 12 利用者についての会議		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	福祉英検に向けての対策が出来るようになる。	教科書・プリント	テキスト全体を読み返し復習する
		各コマにおける授業予定	福祉英語 模擬試験		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	この授業で学び得たことの振り返りが出来るようになる。	教科書・プリント	テキスト全体を読み返し復習する
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	野村 昌史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
障害者とは誰か、障害者に関わる法律、制度を学び、共生社会を目指すうえで社会福祉士が果たすべき役割を学びます。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度)10点、出席点20点、定期テスト70点(100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障害者福祉(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
障害者理解は簡単ではありませんが、街を歩いても自分が見ようとしなければ障害者の方は見えてきません。通学の時、遊びで出かける時、障害者の方を見つけて、どんな生活をしておられるかを想像してみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
障害者への理解には、自分が持っている差別、偏見の意識が不可欠です。誰にでも差別、偏見の意識はあるものと理解した上で乗り越える努力が必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害概念と特性について説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	自身と障害者との関係について話してもらうことがありますので、内容を考えておいてください	
		各コマにおける授業予定	障害概念と特性			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	障害者の歴史について、知っていることがあればまとめておいてください	
		各コマにおける授業予定	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の医学モデルと社会モデルについて説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	これは障害者差別では？と思うことがあればまとめておいてください	
		各コマにおける授業予定	医学モデルと社会モデルの比較研究、視覚障害、聴覚障害の体験			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者に対する法制度と支援の仕組みについて説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	これは障害者差別では？と思うことがあればまとめておいてください	
		各コマにおける授業予定	障害者に対する法制度			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害者、知的障害者について説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	自分の知っている身体障害者、知的障害者について話してもらうことがあるので整理しておいてください	
		各コマにおける授業予定	身体障害者と身体障害者福祉法、知的障害者と知的障害者福祉法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	障害当事者の方への質問を考えてきてください
		各コマにおける授業予定	障害者福祉の歴史		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法についてについて説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	障害者運動について知っていることがあればまとめておいてください
		各コマにおける授業予定	障害者総合支援法に至るまでの障害者、行政の動きについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法の内容を理解し、説明できるようになる。①	障害者福祉(中央法規)	障害者総合支援法についてテキストを読んでおいてください
		各コマにおける授業予定	自立支援給付の内容を学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法の内容を理解し、説明できるようになる。②	障害者福祉(中央法規)	障害者総合支援法についてテキストを読んでおいてください
		各コマにおける授業予定	地域生活支援事業の内容を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法の内容を理解し、説明できるようになる。③	障害者福祉(中央法規)	障害者総合支援法についてテキストを読んでおいてください
		各コマにおける授業予定	障害者福祉計画、障害者総合支援法と介護保険の関係について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援法の内容を理解し、説明できるようになる。④	障害者福祉(中央法規)	自分の住んでいる地域の市役所、区役所にどんな障害者福祉に関わる部署があるかしらべておいてください
		各コマにおける授業予定	障害児に対する支援について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者と行政の関係について説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	障害者の方の困りごとにはどんなものがあるのか、知っている人がいたら聞いたり、自分で想像したりしてみてください
		各コマにおける授業予定	障害者に関する機関、行政の役割		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方について自身の考えを述べるができるようになる。	障害者福祉(中央法規)	社会福祉士、精神保健福祉士ができること、できないことを整理しておいてください
		各コマにおける授業予定	障害者と家族等に対する支援の実際		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割について説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	社会福祉士、精神保健福祉士ができること、できないことを整理しておいてください
		各コマにおける授業予定	障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者福祉の概要について説明できるようになる。	障害者福祉(中央法規)	定期試験は国家試験と異なり論述での解答が多くあります。自分の考えを文章化できるようにしておいてください
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理学と心理的支援		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 月曜2限	教室名	1204教室
担 当 教 員	浦山 郁	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>心理学の基礎・応用を学び、人間の行動のメカニズムを理解できるようになること。 他者の意見を尊重しながら自身の意見を主張することができるようになること。 以上のことが期待される。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70%、授業態度・レポート10%、出席率20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「心理学理論と心理的支援」(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
授業内容の復習が必要						
《履修に当たっての留意点》						
積極的な授業参加 1年生の心理学の内容を復習しておくこと 心理学と自身の日常生活との関連について意識すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉における心理学の役割とは何かを説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す	
		各コマにおける授業予定	福祉と心理学との関連			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	性格が行動にどのような影響をもたらすか説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す	
		各コマにおける授業予定	性格と行動の関連			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情や欲求が行動にどのような影響をもたらすか説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す	
		各コマにおける授業予定	欲求や欲求と行動の関連			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知バイアスについて説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す	
		各コマにおける授業予定	社会的認知についての授業			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	対人認知と行動の関連について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す	
		各コマにおける授業予定	対人認知についての授業			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	人のリスク認知傾向を説明できる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	リスク認知についての授業		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスクコミュニケーションと説得コミュニケーションの違いを説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	リスクコミュニケーションについての授業		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヒューマンエラーについて説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	ヒューマンエラーについての授業		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団の中の個人について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	人間環境と集団についての授業		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	偏見とステレオタイプの影響について説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	ステレオタイプや偏見の授業		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	災害時の行動、防災行動を説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	災害についての授業		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的障害とは何か説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	心理的障害についての授業		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理療法やストレス対処を説明できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	ストレスと適応についての授業		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容をきちんと理解できるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	学んだ内容と国家試験の出題傾向についてリンクさせることができるようになる。	テキスト、PC、プロジェクター	教科書に目を通す
		各コマにおける授業予定	試験対策		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	貧困に対する支援		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	林 明奈	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの順に従って進める ・公的扶助の概念・範囲・役割・歴史、生活保護制度の仕組みと運営実施体制及び低所得者支援の理解を深めつつ、国家試験受験にも資するものとする 						
《成績評価の方法と基準》						
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 70% 出席評価 20% 平常評価点 10% 						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・新・社会福祉士養成講座『低所得者に対する支援と生活保護制度』中央法規 ・必要に応じてその都度関連する資料を配布 						
《授業外における学習方法》						
指定したテキストを事前に読んでおく						
《履修に当たっての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習を欠かさず、授業の進度に遅れないこと ・教科書の各章を終えるごとに復習問題を配布するので、しっかりと取り組むこと 						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	貧困や公的扶助の概念・範囲・意義と役割について説明できるようになる。	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく	
		各コマにおける授業予定	貧困や公的扶助の概念についての講義			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	貧困・低所得問題の現代的課題について説明できるようになる。	テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの指定部をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む 	
		各コマにおける授業予定	貧困・低所得とは何か、貧困と社会的排除及びこれらがもたらす現代的課題についての講義			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	公的扶助制度の歴史(イギリス)について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく	
		各コマにおける授業予定	公的扶助の歴史(イギリス)についての講義			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	公的扶助の歴史(アメリカ・日本)について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの指定部をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む 	
		各コマにおける授業予定	公的扶助の歴史(アメリカ・日本)についての講義			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	貧困・低所得者対策の動向について説明できるようになる。	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく	
		各コマにおける授業予定	貧困・低所得者対策の動向についての講義			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活保護法の目的と原理について説明できるようになる。	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	生活保護法の目的と原理についての講義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活保護法の原則 保護の種類・内容・方法について説明できるようになる。	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	生活保護法の原則 保護の種類・内容・方法についての講義		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	保護の種類・内容・方法について説明できるようになる。 保護施設について理解する	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	前回の続き及び保護施設についての講義		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	被保護者の権利及び義務、不服申し立てと訴訟について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	被保護者の権利及び義務 不服申し立てと訴訟についての講義		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活保護の財源・予算、最低生活保障水準と生活保護基準について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	・テキストの指定部分をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む
		各コマにおける授業予定	生活保護の財源・予算 最低生活保障水準と生活保護基準についての講義		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活保護の動向について説明できるようになる。	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	生活保護の動向についての講義		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	低所得者対策の概要について説明できるようになる。	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	低所得者対策の概要についての講義		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	保護施設について説明できるようになる。	テキスト	・テキストの指定部分をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む
		各コマにおける授業予定	貧困に対する法制度～保護施設～		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割について説明できるようになる。	テキスト	テキストの指定部分をしっかりと読んでおく
		各コマにおける授業予定	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	貧困に対する支援の実際について説明できるようになる。	テキスト	・テキストの指定部分をしっかりと読んでおく ・復習問題に取り組む
		各コマにおける授業予定	貧困に対する支援の実際		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	高齢者に対する支援と介護保険制度		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 火曜3限	教室名	1204教室
担 当 教 員	松原 千加子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
高齢者の生活を理解するために、高齢者に特徴的な健康に関する知識を理解する。その上で、専門職がどのような視点で支援を行うべきか、対象者や場面による違いを踏まえた支援の方法について理解していく。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト 70点 出席点 20点 平常点(授業貢献度) 10点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
高齢者福祉(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
高齢者を取り巻く環境は、大きく変動しています。新聞やニュース、書籍などで情報を取り入れるようにしてください。						
《履修に当たっての留意点》						
高齢者を取り巻く環境は、大きく変動しています。常に、新聞やニュース、書籍などで情報を取り入れるようにしてください。分からない事があれば、授業外の時間でも尋ねてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の心身の特性を理解し、説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション・高齢者理解			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の定義について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	高齢者の定義と特性			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の定義を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	少子高齢社会の理解とともに、高齢者を取り巻く環境を理解し、説明することができる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	少子高齢社会と高齢者			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者福祉政策の歴史について、措置から契約制度に変化した理由を説明することができる	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	高齢者福祉の歴史①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者観の変遷について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	高齢者福祉の歴史②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老人福祉法について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	高齢者に対する法制度①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者医療制度について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	高齢者に対する法制度②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	高齢者に対する法制度③		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	高齢者と家族等に対する支援の実際		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度のサービス体系について説明することができるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	介護保険制度①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度について、利用を希望する人が実際にサービス提供を受けるまでの流れを説明することができるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	介護保険制度②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括支援センターの組織体系と役割について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	地域包括支援センターの組織体系と役割		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者福祉の概要について説明できるようになる。	高齢者福祉(中央法規)	教科書 該当箇所に通す。
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク実習指導		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	1204教室
担 当 教 員	原田 理恵 山田 健太*	実務経験と その関連資格	*【実務経験】 病院(急性期・回復期)医療ソーシャルワーカー、通所リハビリテーション支援相談員 【資格】 社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
<p>ソーシャルワーク実習の意義について理解し、社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。また自己覚知を深め、自身の課題を捉え、専門職として研鑽していけるようにする。ジェネリックなソーシャルワーク、スペシフィックなソーシャルワークについて理解を深める。実習計画、実習総括レポートの作成を行う。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新社会福祉士養成講座『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習「社会専門」』 必要に応じて資料等を配布します。						
《授業外における学習方法》						
相談援助の理論の体系について復習しておくこと。 社会福祉士が配置されている機関について調べておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
現場で起きる事象すべてが学びになるという主体的な姿勢で実習に挑み、自身の活動をしっかりと振り返ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習体験や実習記録を踏まえた課題の整理できるようになる。	レジュメ配布 各自の実習日誌		実習日誌のコピーや実習先の資料を準備する
		各コマにおける授業予定	自己評価(評価表)と実習指導者による評価表の内容を照らし合わせ、共通点や相違点について確認する			
第2回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会に向けた準備に、実習記録と自己課題の振り返りを活用できるようになる。	レジュメ配布		実習日誌のコピーや実習先の資料を準備する
		各コマにおける授業予定	達成できたこと、課題などを個人で確認する作業を行い課題を整理する			
第3回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会で、達成目標と行動目標について報告し、自己の成果を共有できるようになる。	レジュメ、PC		法定実習の実施されている実習機関の法的位置づけを復習する
		各コマにおける授業予定	グループ学習において、自己の学習の成果をグループメンバーに説明する			
第4回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会で、達成目標と行動目標について報告し、自己の成果を共有できるようになる。	レジュメ、PC		個人情報保護法の概要 プライバシー保護の考え方について予習する
		各コマにおける授業予定	グループ学習において、自己の学習の成果をグループメンバーに説明する			
第5回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	実習報告会で、達成目標と行動目標について報告し、自己の成果を共有できるようになる。	レジュメ、PC		現地集合するための交通経路の下調べをする
		各コマにおける授業予定	グループ学習において、自己の学習の成果をグループメンバーに説明する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習実習形式	授業を通じての到達目標 実習報告会で、達成目標と行動目標について報告し、自己の成果を共有できるようになる。	レジュメ配布 実習日誌、関連書類を持参する	各専門職の役割を復習する
	各コマにおける授業予定	グループ学習において、自己の学習の成果をグループメンバーに説明する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 実習の評価及び全体総括を通じて、自己の目指す支援者像を説明できるようになる。	レジュメ配布 実習日誌、関連書類を持参する	ソーシャルワーク実習の意義の復習をする
	各コマにおける授業予定	評価の意義、目的、方法を説明できる		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 3年次の実習に向けて実習施設・機関の法的根拠や種別を調べ整理できるようになる。	レジュメ配布 実習日誌、関連書類を持参する	ソーシャルワーカーの役割を復習する
	各コマにおける授業予定	実習分野の希望調査 個人票の下書き 健康管理、感染予防の対策の必要性と方法を説明できる		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 実習施設・機関の法的根拠や種別を調べ整理できるようになる。	レジュメ配布 実習日誌、関連書類を持参する	実習計画表の作成を自宅学習で継続する
	各コマにおける授業予定	実習計画書の作成を行う 実習機関・施設の職員配置、利用者、住民の状況を調べて説明をする		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 実習で関わる他の専門職の基本的な業務と役割を説明できるようになる。	レジュメ配布 実習日誌、関連書類を持参する	実習計画表の作成を自宅学習で継続する
	各コマにおける授業予定	チームにおける社会福祉士の役割・機能を説明することができる 具体的な事例で連携、協力の理解を深める		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 地域アセスメントを実施し、地域の課題や問題解決に向けた目標を設定できるようになる。	レジュメ配布	実習計画表の作成を自宅学習で継続する 個人票の作成に向けて自分の強み、社会福祉士を目指した理由を振り返る
	各コマにおける授業予定	自分の住まい、地域の中にある社会資源と利用者のライフサイクルについての学習		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 実習記録への記録内容及び記録方法に関する理解ができるようになる。	レジュメ配布	実習計画表の作成と個人票の作成を自宅学習で継続する
	各コマにおける授業予定	ソーシャルワーク実習の意義と支援者像に沿った個人票の完成		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 実習記録への記録内容及び記録方法に関する理解ができるようになる。	レジュメ配布	実習計画表の作成を自宅学習で継続する
	各コマにおける授業予定	具体的な問題解決の事例を踏まえて連携や協働の必要性を説明のために、自己の知識と考察の内容を書き分けて、言語化することを学習する		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 自身の学びをプレゼンテーションすることができるようになる。	レジュメ配布	実習施設の地域特性や社会資源を調べるための方法を復習する
	各コマにおける授業予定	作成した事前学習に基づく個人票と計画表を発表し、知識の修正と補充を行い、理解を深める		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 実習先の仮配置に基づいて、実習事前学習を進めることができるようになる。	レジュメ配布 実習日誌、関連書類を持参する	実習施設の運営管理や職員体制、サービス事業内容を調べるための方法を復習する
	各コマにおける授業予定	3年次の実習に向けて、情報を適切に活用・管理する方法を習得する		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ソーシャルワーク実習指導		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水曜1限	教室名	1204教室
担 当 教 員	原田 理恵 山田 健太*	実務経験と その関連資格	*【実務経験】 病院(急性期・回復期)医療ソーシャルワーカー、通所リハビリテーション支援相談員 【資格】 社会福祉士			
《授業科目における学習内容》						
<p>ソーシャルワーク実習の意義について理解し、社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。また自己覚知を深め、自身の課題を捉え、専門職として研鑽していけるようにする。ジェネリックなソーシャルワーク、スペシフィックなソーシャルワークについて理解を深める。実習計画、実習総括レポートの作成を行う。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>平常点(授業貢献度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新社会福祉士養成講座『ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習「社会専門」』 必要に応じて資料等を配布します。</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>相談援助の理論の体系について復習しておくこと。 社会福祉士が配置されている機関について調べておくこと。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>現場で起きる事象すべてが学びになるという主体的な姿勢で実習に挑み、自身の活動をしっかりと振り返ってください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習及び実習指導の意義と目的を理解することができる	レジュメ配布	講義、演習、実習で学習する知識と技術を相互に関連付けて考え説明することができる バイステティックの7原則、生活モデル、ストレングスモデル、治療モデルの視点	
		各コマにおける授業予定	実習事前準備から報告会までの流れ 関係書類の説明			
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	スーパービジョンの意義、目的、機能の説明、実習におけるスーパービジョン関係と契約について理解することができる。	レジュメ配布	スーパービジョンの3機能を復習する	
		各コマにおける授業予定	実習の展開過程(実習前、中、後)に行われるスーパービジョンの内容と方法について スーパーバイザーとスーパーバイジーの役割について			
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	実習の構造を理解し、実習のプロセスと実習に係るシステムを説明できる	レジュメ、PC	法定実習の実施されている実習機関の法的位置づけを復習する	
		各コマにおける授業予定	実習指導における評価に関する事項 新カリキュラムに対応した実習計画書の作成項目の学習			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習におけるリスクマネジメントを理解し、実践することができる	レジュメ配布	個人情報保護法の概要 プライバシー保護の考え方について予習する	
		各コマにおける授業予定	実習生の権利と義務、個人情報の保護とプライバシーの権利、ハラスメントのリスク			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	現場の社会福祉士から実習への心得を学び、現場のイメージを持つことができるようになる。	レジュメ配布	現地集合するための交通経路の下調べをする	
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワーカーの実践現場を学ぶ。 現役社会福祉士から、実習に臨む姿勢について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現場のクライアントや社会の問題を把握することができる。	レジュメ配布	各専門職の役割を復習する
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワーカーの実践現場を学ぶ。 現役社会福祉士から、実習に臨む姿勢について学ぶ。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習生同士の共感的理解を得ることができるようになる。	レジュメ配布	見学施設等のソーシャルワーク機能を復習する
		各コマにおける授業予定	実習日誌の様式を用いて、レポート作成を行う。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習生同士の共感的理解を得ることができるようになる。	レジュメ配布	見学やゲストスピーカーから学んだことを共有するため作成したレポートを持参する
		各コマにおける授業予定	ピアスーパービジョン体験		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習施設・機関の法的根拠や種別を調べ整理できるようになる。	レジュメ配布	実習計画表の作成を自宅学習で継続する
		各コマにおける授業予定	実習計画書の作成を行う 実習機関・施設の職員配置、利用者、住民の状況を調べて説明をする		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域アセスメントを実施し、地域の課題や問題解決に向けた目標を設定できるようになる。	レジュメ配布	実習計画表の作成を自宅学習で継続する
		各コマにおける授業予定	地域アセスメントの意義、方法、活用可能なツール(SWOT分析など)についての学習 地域の中にある社会資源と利用者のライフサイクルについての学習		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習記録への記録内容及び記録方法に関する理解ができるようになる。	レジュメ配布	実習計画表の作成を自宅学習で継続する 個人票の作成に向けて自分の強み、社会福祉士を目指した理由を振り返る
		各コマにおける授業予定	ソーシャルワーク実習の意義と支援者像に沿った個人票の作成方法を学習する		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習記録への記録内容及び記録方法に関する理解ができるようになる。	レジュメ配布	実習計画表の作成と個人票の作成を自宅学習で継続する
		各コマにおける授業予定	具体的な問題解決の事例を踏まえて連携や協働の必要性を説明のために、自己の知識と考察の内容を書き分けて、言語化することを学習する		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	立案した実習計画書を担当教員に説明し、スーパービジョンを踏まえて修正できるようになる。	レジュメ配布	実習計画表の作成を自宅学習で継続する
		各コマにおける授業予定	実習事前オリエンテーションに参加するための準備 実習計画書の校正と清書、実習日誌の構成内容と記入方法の確認		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自身の学びをプレゼンテーションすることができるようになる。	レジュメ配布	事前オリエンテーションに参加するための交通経路の確認、事前訪問の電話をかけ、日程調整をする
		各コマにおける授業予定	校章授与式に向けての準備と実習計画書の仕上げ 実習先で必要とされるソーシャルワーカーの価値規範と倫理、知識技術の再確認		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまで準備してきたことを確認し、不安感を軽減し、自分らしく実習に臨むことができるようになる。	レジュメ配布 実習日誌、関連書類を持参する	倫理綱領を熟読 実習要綱を確認
		各コマにおける授業予定	実習直前指導 実習における基本姿勢の確認 お礼状の書き方		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	手話		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 木曜3限	教室名	1204教室
担 当 教 員	ろうあ会館講師	実務経験と その関連資格	大阪府・大阪市手話通訳者、全国手話検定試験「面接委員」			
《授業科目における学習内容》						
聴覚障害者を理解し、聴覚障害者のコミュニケーション方法を学ぶ。 聴覚障害者の日常生活の一助となる事を目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
実技を伴う授業なので、授業態度・実技試験を重視する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう手話で話そう」						
《授業外における学習方法》						
関連書籍など適宜紹介する						
《履修に当たっての留意点》						
手話は聴覚障害者がもつ言語であり、コミュニケーションには欠かせない手段です。言いたい事を伝える、相手の言いたい事を理論しようとする、伝える事の大切さを学びます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストを一読しておく	
		各コマに おける 授業予定	名前・趣味・誕生日・家族など自己紹介ができていますか復習			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復習しておく	
		各コマに おける 授業予定	住んでいる所・交通手段など方向性をもった手話表現の復習			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復習しておく	
		各コマに おける 授業予定	第10講座 一日の出来事の手話表現の復習			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復習しておく	
		各コマに おける 授業予定	第13講座 行事のお知らせをペアで作成・発表する			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復習しておく	
		各コマに おける 授業予定	第13講座 行事のお知らせをペアで作成・発表する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第12講座 四季を通した一年の出来事の手話表現を学ぶ		
第7回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第14講座 旅行のお知らせをペアで作成・発表する		
第8回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	いつ・どこで・何を など疑問詞を交わえながら手話で会話して みる		
第9回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第16講座 病院での会話を基に、病院で困る事とは何か考 える		
第10回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単なやり取りができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第15講座 方向の使い方を復習しながら会話をする		
第11回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単な会話ができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	第17講座 疑問詞の使い方、場所の表し方を復習しながら会 話をする		
第12回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単な会話ができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	会話文を一組になってそれぞれが発表してチェックする		
第13回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単な会話ができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	空間のイメージ化を学びながら身振りも交わえながら会話をす る		
第14回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単な会話ができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	これまでの振り返り		
第15回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	手話で簡単な会話ができるようになる。	テキスト	テキストの該当箇所を復 習しておく
		各コマに おける 授業予定	まとめ 試験に向けて		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	マネジメント理論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年 地域福祉専攻		学期及び曜時限	前期 金曜3限	教室名	1201教室
担当教員	辻林 厚	実務経験とその関連資格	高齢者施設、障害者の就労支援施設で相談員として勤務。 社会福祉士/精神保健福祉士を保有 医療安全学修士課程修了(障害者雇用におけるマネジメント手法の研究)			
《授業科目における学習内容》						
近代的マネジメントの源流をさかのぼり、組織の目標達成に必要な人・モノ・金・情報・時間の活用術を理論的に習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点10点(授業貢献度)、出席点20点、定期テスト70点(100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
組織心理学 見るだけノート(宝島社)、ビジネスフレームワーク 見るだけノート(宝島社)						
《授業外における学習方法》						
グループで活動する際に、人・モノ・金・情報・時間の要素がどのように関連しているかを意識しながら行動してみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
6W2H、PDCAサイクルの考え方を習慣化し、計画的に行動できるように成長していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	マネジメントの概要を説明できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション～マネジメントとは～			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	科学的管理法について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	組織心理学について～産業心理学と組織心理学の統合 科学的管理法から人間関係論までの流れ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	専制型、民主型、放任型それぞれの分類について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	リーダーシップ論① リーダーシップの3つの分類			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	特性理論とコンティンジェンシー理論について説明できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	リーダーシップ論② 特性理論とコンティンジェンシー理論			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	サーバントリーダーシップとオーセンティックリーダーシップについて説明できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	リーダーシップ論③ サーバントリーダーシップとオーセンティックリーダーシップ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	組織事故について学び、スイスチーズモデルについて説明できるようにになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	チームのパフォーマンスを最大化するポイント ～JR福知山線列車事故から得た「ほめる」ことの教訓～		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	PDCAサイクルについて説明できるようにになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	PDCAサイクル～業務を改善するためのサイクルを回す～		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	6W2Hについて説明できるようにになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	6W2H～8つの問いを用いて問題を特定する～		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	どんな業務を優先させるべきかについて自身の考えを述べる ことができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	業務の優先度～仕事の優先度を決めるキーとなる貢献度とは ～		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	意思決定マトリクスについて説明できるようにになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	意思決定マトリクス～数値化して方針を決定する～		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	マンダラートについて説明できるようにになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	マンダラート～アイデアを広げるために～		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	SWOT分析について説明できるようにになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	SWOT分析～チームの強みを明確化する～		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ガンチャートについて説明できるようにになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ガンチャート～スケジュールと人員管理～		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	3H管理について説明できるようにになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	ハインリヒの法則から考える3H(はじめて、変更、ひさしぶり)管 理～ヒヤリ・ハットを分析して事故を未然に防ぐ～		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	必要な人・モノ・金・情報・時間の活用術を理論的に説明できる ようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	総括		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	福祉マネジメント演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期 火曜2限	教室名	1201教室
担 当 教 員	山田健太	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
学内におけるイベント企画を通じて、人・モノ・金・情報・時間の活用術を実践的に習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点10点(授業貢献度)、出席点20点、定期テスト70点(100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
組織心理学 見るだけノート(宝島社)、ビジネスフレームワーク 見るだけノート(宝島社)						
《授業外における学習方法》						
グループで活動する際に、人・モノ・金・情報・時間の要素がどのように関連しているかを意識し、リーダーシップを発揮してみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
福祉サービスの組織と経営にもつながる科目です。主体的に企画に参加し、実践的に学びを深めていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	人・モノ・金・情報・時間の要素を基本に置いたマネジメントについて説明できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション～マネジメントの振り返り～			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期学内イベントの概要を把握し、役割分担ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション～イベント企画の概要～			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	新入生歓迎会の計画が立案できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	イベント企画①～新入生歓迎会の計画～			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	新入生歓迎会の任せられたパートについて実践できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	イベント企画①～新入生歓迎会の実行～			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	新入生歓迎会の評価ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	イベント企画①～新入生歓迎会の評価～			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	新入生歓迎会の改善を行い、次年度へ引き継ぐことができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画①～新入生歓迎会の改善～		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	こども食堂の計画が立案できるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画②～こども食堂の計画～		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	こども食堂の運営ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画②～こども食堂の実行～		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	こども食堂の評価ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画②～こども食堂の評価～		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	こども食堂の改善を行い、次クールに引き継ぐことができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画②～こども食堂の改善～		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	レクリエーション交流会のブース出展について計画立案ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画③～レクリエーション交流会の計画～		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	レクリエーション交流会でブース運営ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画③～レクリエーション交流会の実行～		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	レクリエーション交流会全体及び、チームで企画したブース運営の評価ができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画③～レクリエーション交流会の評価～		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	チームで企画したブース運営の改善を行い、次年度に引き継ぐことができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	イベント企画③～レクリエーション交流会の改善～		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	人・モノ・金・情報・時間の要素を基本に置いた基本的なマネジメントができるようになる。	テキスト 配布資料	該当する章のテキストを 読んでおく
		各コマにおける授業予定	総括		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 2/3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202など
担 当 教 員	中谷 幸子/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、演習教材						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる 関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動の4原則について説明できるようになる	レジュメ	ボランティア活動の4原則について予習しておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、自己紹介			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動で主体的な学びにつなげる行動ができるようになる。	レジュメ	ボランティア活動ハンドブックを一読しておく	
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動の意義・目的			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	バリアフリーについて説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	バリアフリー展の資料をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	バリアフリー展報告、ライフサイクルゲーム			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	バリアフリーについて説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	バリアフリー展の資料をまとめておく	
		各コマにおける授業予定	バリアフリー展報告、ライフサイクルゲーム			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	学校周辺地区の避難経路について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	まち歩き実施地区のマップを見ておく	
		各コマにおける授業予定	避難訓練を兼ねたまち歩き			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	学校周辺地区の避難経路について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	まち歩き実施地区のマップを見ておく
		各コマにおける授業予定	避難訓練を兼ねたまち歩き		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	現場実習での学びの視点について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアの参加事業所のHPを調べておく
		各コマにおける授業予定	イベント準備と実習対策／クロスロードゲーム		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	現場実習での学びの視点について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアの参加事業所のHPを調べておく
		各コマにおける授業予定	イベント準備と実習対策／クロスロードゲーム		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	業界研究を深め、目指す領域について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアでまわった事業所の資料をまとめておく
		各コマにおける授業予定	就職フェア報告		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	業界研究を深め、目指す領域について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	就職フェアでまわった事業所の資料をまとめておく
		各コマにおける授業予定	就職フェア報告		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	介護現場での食事形態、避難所での食事について説明できるようになる。	※調理実習室使用	調理の基本を調べておく
		各コマにおける授業予定	調理実習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	介護現場での食事形態、避難所での食事について説明できるようになる。	※調理実習室使用	調理の基本を調べておく
		各コマにおける授業予定	調理実習		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピーの効果について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	エクササイズの動画を見ておく
		各コマにおける授業予定	エクササイズ、アロマセラピー		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピーの効果について説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	エクササイズの動画を見ておく
		各コマにおける授業予定	エクササイズ、アロマセラピー		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を再認識し、説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	映画のシーンで、自分ならどのような関わりをするか考える
		各コマにおける授業予定	福祉映画		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 2/3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202など
担 当 教 員	中谷 幸子/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、演習教材						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる 関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を再認識し、説明できるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー		映画のシーンで、自分ならどのような関わりをするか考える
		各コマにおける授業予定	福祉映画			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	避難所での課題や、運営方法について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	避難所運営ゲーム			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	避難所での課題や、運営方法について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	避難所運営ゲーム			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	避難行動訓練について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	EVAG			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	避難行動訓練について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材		興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	EVAG			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	フットケアの効果について説明できるようになる。	※調理実習室使用	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	シャボンラッピング		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	フットケアの効果について説明できるようになる。	※調理実習室使用	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	シャボンラッピング		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅福祉の実際について説明できるようになる。	※ゲスト予定	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	在宅福祉を考える（宅配弁当試食、等）		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	在宅福祉の実際について説明できるようになる。	※ゲスト予定	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	在宅福祉を考える（宅配弁当試食、等）		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマケアの効果について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	実習報告、アロマケア		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマケアの効果について説明できるようになる。	レジュメ 演習教材	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	実習報告、アロマケア		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	AEDの操作ができるようになる。	※外部講師	外部講師の所属先について調べておく
		各コマにおける授業予定	AEDの実践		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	AEDの操作ができるようになる。	※外部講師	外部講師の所属先について調べておく
		各コマにおける授業予定	AEDの実践		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	活動報告のフィードバック効果について説明できるようになる。	活動記録 活動画像	地域活動の記録をまとめておく
		各コマにおける授業予定	地域活動報告まとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動で主体的な学びにつなげる行動について自身の考えを述べるができるようになる。	活動記録 活動画像	地域活動の記録をまとめておく
		各コマにおける授業予定	ボランティア演習まとめ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	地域福祉専攻 1/2/3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202教室など
担当教員	中谷 幸子/木寺 由美 <input type="checkbox"/>	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、活動報告						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる 関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期の授業終了後の成長した自分をイメージできるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書		前期の授業を振り返っておく
		各コマにおける授業予定	後期の抱負①			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期の授業終了後の成長した自分をイメージできるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書		前期の授業を振り返っておく
		各コマにおける授業予定	後期の抱負②			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書		宿泊研修の活動記録をまとめておく
		各コマにおける授業予定	一泊研修や基礎実習の報告			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	レジュメ 昨年の研修報告書		宿泊研修の活動記録をまとめておく
		各コマにおける授業予定	一泊研修や基礎実習の報告			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	分化交流の企画立案ができる	レジュメ 昨年の活動報告書		分化交流で実践したいことを各自考えておく
		各コマにおける授業予定	アメリカ研修に向けて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	分化交流の企画立案ができるようになる。	レジュメ 昨年の活動報告書	分化交流で実践したいことを各自考えておく
		各コマにおける授業予定	アメリカ研修に向けて		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を語れるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	福祉映画		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	映画を通じて、自身の福祉観を語れるようになる。	PC、プロジェクター、スピーカー	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	福祉映画		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	活動報告書	海外研修の活動報告をまとめておく
		各コマにおける授業予定	海外研修報告、アロマケア		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	研修を通じて学んだこと、感じたことを言語化できるようになる。	活動報告書	海外研修の活動報告をまとめておく
		各コマにおける授業予定	海外研修報告、アロマケア		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動実践と国家試験の学習を結びつけることができるようになる。	レジュメ	地域福祉の理論と方法の国家試験の過去問をJ-webで解く
		各コマにおける授業予定	試験対策		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動実践と国家試験の学習を結びつけることができるようになる。	レジュメ	地域福祉の理論と方法の国家試験の過去問をJ-webで解く
		各コマにおける授業予定	試験対策		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士に必要な介護技術を理解し、社会福祉士が介護について学ぶ意義について考えを述べることができるようになる。	レジュメ	介護についてテキストで復習しておく
		各コマにおける授業予定	介護の日にちなんで		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士に必要な介護技術を理解し、社会福祉士が介護について学ぶ意義について考えを述べることができるようになる。	レジュメ	介護についてテキストで復習しておく
		各コマにおける授業予定	介護の日にちなんで		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	興味あるテーマでの学びを社会福祉士が実践する技術と結びつけることができるようになる。	レジュメ ワークシート	興味を持っている地域活動について調べておく
		各コマにおける授業予定	リクエストテーマ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	社会福祉科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ボランティア演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	地域福祉専攻 1/2/3年		学期及び曜時限	後期	教室名	1202教室など
担 当 教 員	中谷 幸子/木寺 由美	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
さまざまな体験を通じて視野を広げ、社会で役立つスキルを身につける。考える力や発表能力を養う。 縦割りの特色を活かし、他学年との交流を図る。企画力や自発性を引き出す。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(授業態度) 10点 出席点 20点 定期テスト 70点 (100点満点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジュメ、活動報告						
《授業外における学習方法》						
さまざまなボランティアに参加してみる 関心を持ったテーマについて調べる						
《履修に当たっての留意点》						
できるだけ遅刻・欠席をしないこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	興味あるテーマでの学びを社会福祉士が実践する技術と結びつけることができるようになる。	レジュメ ワークシート	興味を持っている地域活動について調べておく	
		各コマにおける授業予定	リクエストテーマ			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者の抱える生活の困難さな、望んでいることを認識できるようになる。	レジュメ ワークシート	3障害についてテキストで復習しておく	
		各コマにおける授業予定	障害者週間にちなんで			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害者の抱える生活の困難さな、望んでいることを認識できるようになる。	レジュメ ワークシート	3障害についてテキストで復習しておく	
		各コマにおける授業予定	障害者週間にちなんで			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	後輩に対してのサポートと上級生からのフィードバックを経て、立場を越えたかかわり方ができるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく	
		各コマにおける授業予定	2年生企画			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	後輩に対してのサポートと上級生からのフィードバックを経て、立場を越えたかかわり方ができるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく	
		各コマにおける授業予定	2年生企画			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標 介護現場での食事形態、避難所での食事について理解を深め、調理技術が向上する。	※調理実習室使用	前期の調理実習を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	調理実習		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標 介護現場での食事形態、避難所での食事について理解を深め、調理技術が向上する。	※調理実習室使用	前期の調理実習を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	調理実習		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標 春季の長期休暇中で実践したい地域活動を考え、自身の成長について具体的に考えることができるようになる。	レジュメ ワークシート	実践したい地域活動について考えておく
	各コマにおける授業予定	新春プログラム		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標 春季の長期休暇中で実践したい地域活動を考え、自身の成長について具体的に考えることができるようになる。	レジュメ ワークシート	実践したい地域活動について考えておく
	各コマにおける授業予定	新春プログラム		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標 災害ソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	阪神淡路大震災、東日本大震災について調べておく
	各コマにおける授業予定	災害を考える		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標 災害ソーシャルワークについて説明できるようになる。	レジュメ	阪神淡路大震災、東日本大震災について調べておく
	各コマにおける授業予定	災害を考える		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標 後輩に対するサポートを実践する中で、人を育てる必要性について説明できるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく
	各コマにおける授業予定	3年生企画		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標 後輩に対するサポートを実践する中で、人を育てる必要性について説明できるようになる。	レジュメ ワークシート	企画を立案しておく
	各コマにおける授業予定	3年生企画		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標 ボランティア活動へ臨む姿勢について、自身の考えを述べることができるようになる。	レジュメ レポート	これまで実践してきたボランティア活動を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	ふり返り		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標 ボランティア活動へ臨む姿勢について、自身の考えを述べることができるようになる。	レジュメ レポート	これまで実践してきたボランティア活動を振り返っておく
	各コマにおける授業予定	ふり返り		